

会議事録

会議名	令和5年度 第1回学校関係者評価委員会		
開催日時	令和5年6月1日 木曜日 午後4時00分～午後5時15分		
会場	学校法人 美専学園 北海道芸術デザイン専門学校 1階会議室		
委員等	株式会社 アトリエ・K 一級建築士事務所	会長	河村 和義
	元司法書士 山森鉄大事務所	所長	山森 鉄大
	有限会社 I.BDESIGN	代表取締役	櫻井 俊二
	株式会社 a s c l a i r	代表取締役	細木 実
	北海道芸術デザイン専門学校	校長	根上 和也
	北海道医薬専門学校	校長	飯田 知男
	北海道医薬専門学校	校長代理	安田 格司
	北海道芸術デザイン専門学校	就職課主任	稲葉 未紗
北海道芸術デザイン専門学校	就職担当	木村 紀行	
会議録	北海道医薬専門学校	校長代理	安田 格司
委員長挨拶	根上 和也		
協議内容			
<p>[1] 令和4年度 学校関係者評価について</p> <p>※ 北海道芸術デザイン専門学校・北海道医薬専門学校 学校関係者評価シートに基づき自己点検・自己評価総括を分類項目ごと助言をいただく。</p>			
<p>1. 教育理念・目的・人材育成像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 理念・目的・育成人材像など学科の特性が明確になっているか ○ 各学科の教育目標・育成人材像は業界のニーズに向けて方向づけられているか 	<p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p>		
<p>2. 学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標等に沿った学科運営方針が明確になっているか ○ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか 	<p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p>		
<p>3. 教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が示されているか ○ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ○ 資格取得の指導体制はカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか ○ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる指導体制を確立しているか 	<p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p>		
<p>4. 学修成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 就職率の向上が図られているか ※ 昨年度初めて実施した学内合同企業説明会の効果もあり、内定者は昨年度より好転した。直近数年厳しかったデザイン関連の職種の人材も回復し、業界内への就職率が上がった。建築業界は人材不足が加速しており、大手ハウスメーカーを中心に早期採用が進んでいるため、建築士専攻・インテリア専攻向けに1年次1月に合同企業説明会を実施する等の対応を強化している。2級建築士の受験について、在校生2名・聴講生1名の受験予定。(稲葉) ※ 就職希望者は全員、医療系関連職種に内定できた。診療放射線学科は国家試験の点数がボーダーライン上の学生は3月下旬の合格発表後の活動となるため3月中の就職率100%が困難なケースがある。(木村) ○ 退学率の低減が図られているか ※ 就労移行支援事業所やカウンセリングのできる相談所とも連携し、学生のケアにあたる予定であり、社会に出ることの不安には就労移行支援事業所を、学生生活で困っていることは相談所を案内していく。(稲葉) 	<p>※ 看護学校の大学進学については医療系への編入であるか。(河村)</p> <p>大学へは医療系で大学3年へ編入しており、一方で大学卒業後に専門学校へ入る場合もある。(木村)</p> <p>※ 退学者が増えていることについては対策の必要がある。入学前に不登校や発達障害、メンタル不調などが分かる方法はないか。(河村)</p> <p>入学後の担任面談の中で、学生から明かされるケースが多い。(根上)</p> <p>高校において、コロナ影響により集団における人との接し方が分からず、集団行動に馴染めなくなりメンタル不調となる傾向もある(飯田)</p>		
<p>5. 学生支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか ○ 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか 	<p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p>		
<p>6. 教育環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか ○ 防災に対する体制は整備されているか 	<p>※ コロナ禍で海外研修が行われていなかったが、落ち着いてきた状況なので、海外研修も貴重な機会であり、今後実施を検討してほしい。(河村)</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p>		
<p>7. 学生の受入募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学生募集活動は、適正に行われているか ○ 学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか 	<p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p>		
<p>8. 財務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ○ 財務について会計監査が適正に行われているか 	<p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p>		
<p>9. 法令の遵守</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 	<p>※ 課題、助言事項なし</p>		
<p>10. 社会貢献・地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ○ 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか 	<p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p>		
<p>11. 総合評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まとめとして、1～10項目以外にもご意見をいただきたい 	<p>※ 不登校等の問題もあるが、皆さん頑張っていたと、発展を願っている。(山森)</p> <p>※ 時代の流れで心の表現が難しくなっていると思う。地域貢献の観点から学校ができることがあると好ましい。(櫻井)</p> <p>※ オープンキャンパスは、参加者の進路決定において影響が大きいので、予算をかけて力を入れてほしい。生徒ファーストであることが、一番力を入れる事だと思ふ。先生のマインドや意識の持ち方が大事であり、元気に学校運営を行うことで、自ずと様々な問題解決に繋がると思う。(細木)</p>		
[2] 令和6年度 学校関係者評価委員会 開催時期案	※ 令和6年6月上旬を予定		